

リサイクルプラント 見学ツアー

～バスで Go! Go! ～

No.7



【経済産業部】

暑さ真っ盛りの8月21日、家電、自動車などリサイクルの県内大手、拓南商事株式会社（うるま市）への「リサイクルプラント見学ツアー」を実施しました。本ツアーは、環境と経済が両立した循環型社会を形成していくための3つの頭文字3R（スリーアール）（Reduce（リデュース・廃棄物の排出抑制）、Reuse（リユース・再利用）、Recycle（リサイクル・再資源化）政策の普及・啓発の二環として、一般の参加者にリサイクル関連企業の取組について理解を深めて頂くことを目的に昨年より実施しております。

今回、夏休み期間中の開催ということで、小学生と父兄を中心に26名が参加し、活気のあるツアーとなりました。

リサイクルプラントでは、現場担当者の詳細かつ分かりやすい解説を参加者が聞きながら、家電4品目（テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機）や自動車などが、次々と速やかに分解・分別されていく工程に目を見張るような見学となりました。中でも、クレーンによる自動車の解体のデモンストレーションでは、乗用車が模型のように、軽々と持ち上げ、逆さにされ、大きな音を立てながら、瞬く間に解体される様子に参加者は大変驚くとともに熱心に見入っていました。

質疑応答では、川上哲史社長から「参加した皆さんのリサイクルに対する理解が深まり、県民の取組として広げてほしい」とのお話があり、また、琉球ガラス村とのコラボレーションにより製作した自動車のサイドガラスを原料とした高級感のあるカットグラスや、シートベルトを再利用した高強度のオリジナルの



広大なプラント内で、家電や自動車等が次々にリサイクルされている



シールドバグなど、同社のリサイクルにおける新たな取組を紹介し、参加者は深く耳を傾けていました。

ツアー終了後の参加者へのアンケートでは、「工場で実際のリサイクルの工程を学べる貴重な機会だと思う」、「夏休みの自由研究の題材にも活用できる良い取組だと思う」といったコメントを頂き



自動車が解体される様子を釘付け



ました。

環境資源課では、今後も引き続き3Rの取組の普及並びに家電や自動車などのリサイクルの促進に取り組んで参ります。

経済産業部環境資源課

☎098-866-1757

與那嶺・波照間